

専門職のワークショップ

意見等のまとめ	要旨・備考
<p>計画説明を受けての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併後地域が広くなり、選択できる社会資源が増えた。しかし、社会資源等の情報の周知が不足している。 ・障がい者の住める場所が不足。 ・子育て世帯の地域で生活する際の支援として子育てサロンがある。子育て経験者が参加し、地域の方同士でつながれる場づくりが大切。 ・いきいきデイサービスのような、介護保険外で利用できるデイサービスが増えるとよい。 ・親族や頼れる人がいない人がいる。 <p>〔 病院では、独居で救急搬送された方の急変時や死亡時の対応に苦慮している。普段からつながりを意識することが必要。〕</p> <p>身内がわからず、病気等で亡くなった時はどこに連絡して良いかわからない。</p> <p>〔 成年後見制度のニーズが高い。〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者の問題 <p>〔 生活保護は受けていないが、生活に困っているという相談を受ける。〕</p> <p>仕事がなかったり、病気を理由に働きたくても働けない人がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専門外の相談はくらしの便利帳等の情報を活用。 ・専門職自身が頑張ろうという気持ちを持ち、全員とつながり困った時にあの人に相談しようと思える顔の見える関係づくりが必要。 ・地域住民、民間事業所、福祉委員等、誰かとつながることで孤立を防げるのではないかとにかく訪問することや定期的な報告会の機会をつくることでつながりをつくる。 ・一緒に考える支援が必要。ホームページやハローワーク、自分のネットワークをもって電話連絡で情報共有していく。
<p>誰とつながったらよいか。どのようにつながりを持てるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域とのつながり <p>〔 区長・自治会長・民生委員・福祉委員・ボランティア団体・認知症サポーター・住民・ふれあい・いきいきサロン〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政等公共機関とのつながり <p>〔 法テラス・病院・ハローワーク・民間事業者（新聞、配達、郵便局等）・社会福祉協議会（あんしんサポートねっと）・CSW 学習会などを通じた情報交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちがやること <p>〔 その場に自ら出ていくフットワークの良さを持つ。〕</p> <p>専門職も地域のサロンに参加する。</p> <p>〔 民生委員、福祉委員の役割を知る。〕</p>	